

平成17年度当初予算（一般会計）

円の（前年対比20%減）

超緊縮予算

三月定例会

三月定例会は、三月七日に招集され、二十四日までの十七日間の会期で開かれました。今回の定例会（第三回）では、平成十七年度当初予算、平成十六年度旧各四町村各会計決算、平成十六年度神石町三和町学校組合決算、平成十六年度神石広域事務組合決算、平成十六年度各会計補正予算（三月補正）、神石高原町子育て・定住支援条例等の七十議案が提出されました。一部字句の修正がありました。すべて原案どおり可決されました。議員発議により議会議員の報酬を引き下げる条例の制定・県立神石三和病院存続特別委員会設置に関する提案がなされ、いずれも全会一致で可決されました。

平成十七年度 予算編成大綱

要旨

平成十七年度当初予算は、一般会計において一〇〇億円を超える予算となりましたが、十分に財源移譲が行われない中で、三位一体改革等により、臨時財政対策債の削減、国県補助・負担金の廃止・縮減など財源不足額が深刻な状況にあります。この歳入不足に對しては、歳出において、全課一丸となって歳出を抑え「住民サービスの低下を最小限に留める」ことを前提に努力した予算としました。

予算編成の基本的な考え方は、新町の将来像で

ある「人と自然が輝く高原のまち」を基本理念に、新町建設の五項目の目標達成に向けたものと位置づけしております。

① 快適で魅力に満ちたまちづくりには、総合開発計画の策定、自治振興会の充実、ふるさとふれあい事業を通して魅力ある生活拠点づくりに努めます。

② 保健・医療・福祉の充実したまちづくりでは、保健福祉センターを中心とした情報一元化システムの導入、福祉タクシー助成事業、パワーリハビリ事業、地域子育て支援センター

設置などを行います。

③ 教育・文化のまちづくりでは、児童生徒の安全な輸送体制の確立、小・中・高校教育支援事業など学力・学校教育の充実、地域の社会教育施設の有効利用ができる環境づくりに努めます。

④ 活力ある産業と交流のまちづくりでは、営農体制の充実と農産物加工・流通体制の強化を図り、中山間地域等直接支払事業、基盤整備促進事業などソフト・ハード両面にわたって各種事業に取り組みます。地域産業の活性化に向け商工会各種活動の支援を行います。

⑤ 交通・情報通信基盤の整備については、周回道路としての国道・県道改良負担金の計上、町道二十路線の整備、活性化情報センターを核とした情報基盤の充実を図ります。

財源不足は深刻な課題であり、行財政改革に積極的に取組み、機構改革をも含めた事務事業の見直しを検討いたします。また、町民の皆様に対しては「迅速・確実」を本町の行政スタイルと定め、今後職員の方針に立つて臨む所存です。

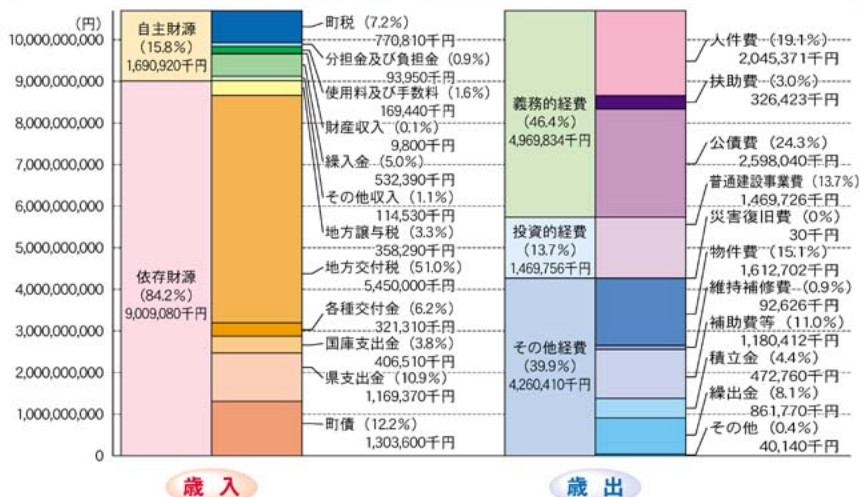
職員の方針に立つて臨む所存です。



油木小学校

107億

平成17年度一般会計当初予算



特別会計当初予算 …総額 59億 7,950万円

平成17年度国民健康保険特別会計予算	1,185,000千円
平成17年度老人保健特別会計予算	2,440,000千円
平成17年度介護保険特別会計予算	1,682,000千円
平成17年度簡易水道事業特別会計予算	171,000千円
平成17年度飲料水供給施設事業特別会計予算	219,000千円
平成17年度農業集落排水事業特別会計予算	247,000千円
平成17年度観光施設事業特別会計予算	35,400千円
平成17年度分収育林事業特別会計予算	100千円